

**2020年6月のチェルノブイリデー**

# **6・26原発ゼロ昼休宣伝行動**

## **原発と人類は共存できません 全原発廃止せよ！と声をあげましょう**

チェルノブイリ原発事故から34年2カ月。いまま30キロ圏内は立ち入り禁止です。事故を起こした4号機を覆っていた石棺が壊れ、2年前に巨大な鋼鉄製シェルターで覆い、そのなかで廃炉作業を進めると言います。日本では、福島第一原発事故から10年目に入っても4万人を超える県民が避難を強いられ“ふるさと”は奪われたままです。事故収束の見通しも立っていません。原発と人間社会が共生できないことは明らかです。原発は再稼働せず即時廃炉が当然です。

## **安倍政権の原発推進路線は総破たん ～ 安倍暴走政治ノーの声を！**

安倍政権は原発・核燃料サイクル推進の暴走政治に固執しています。しかし、国民の多数は、原発再稼働反対、核燃料サイクル中止を願っています。昨年新たに再稼働した原発は1基もなく、使用済み核燃料の再処理も、六ヶ所再処理工場の24回にわたる竣工延期で破たんし、核のごみの深地層処分方針も、科学的特性マップ発表から約3年、最終処分地が決まる見通しもなく破たんが明白です。原発輸出も総破たんしています。加えて関西電力の利権がらみの原発マネー疑惑はますます深刻です。原発推進に暴走する安倍政治にノーの声を上げましょう。

## **泊原発の審査は行き詰まっている 再稼働させず廃炉にさせよう！**

泊原発停止から7年11カ月余、泊原発がなくても電気は足りています。泊原発の審査は行き詰まったままです。北電は、泊原発の再稼働を断念し、原発から撤退すべきです。

## **幌延深地層研究センターは、研究延長を撤回し即時廃止を決断すべき！**

原子力機構・幌延深地層研究センターは、研究計画延長を撤回し、センターの廃止を決断すべきです。道知事は、研究延長受入れ表明を撤回し、廃止を求めるべきです。

◇日時 2020年 6月26日(金) 12時15分～45分

◇場所 JR札幌駅北口駅前広場(西側)

◇主な行動 リレートークと泊原発シール投票、原発ゼロ基本法リーフレット配布など。



イレブンアクション(20年4月10日)



2020年3月チェルノブイリデー(3月26日)

**主催：原発問題全道連絡会・国民大運動北海道実行委員会**

(〒003-0805 札幌市白石区菊水5条1丁目4-5 道労連内)

電話：011-815-8181、Fax：011-815-4545)